

医師と医師会を結ぶ情報紙

平成22年9月15日/毎月1回15日発行

都医 NEWS

Vol. 535

- 都地区医師会 新公益法人制度説明会 01
 関東甲信越静学校医協議会
 底流
 都リハビリテーション病院20周年 ほか 02
 外国人未払医療費補てん事業 ほか 03
 みどりの広場 ほか 04
 ふれあいポスト 05
 都医師会からのお知らせ ほか 06
 地区医師会長からの一言 08

発行所 ■ 社団法人 東京都医師会 〒101-8328 東京都千代田区神田駿河台2-5 TEL.03-3294-8821(代)

編集兼発行人 ■ 新井祐司

定価 ■ 1部73円

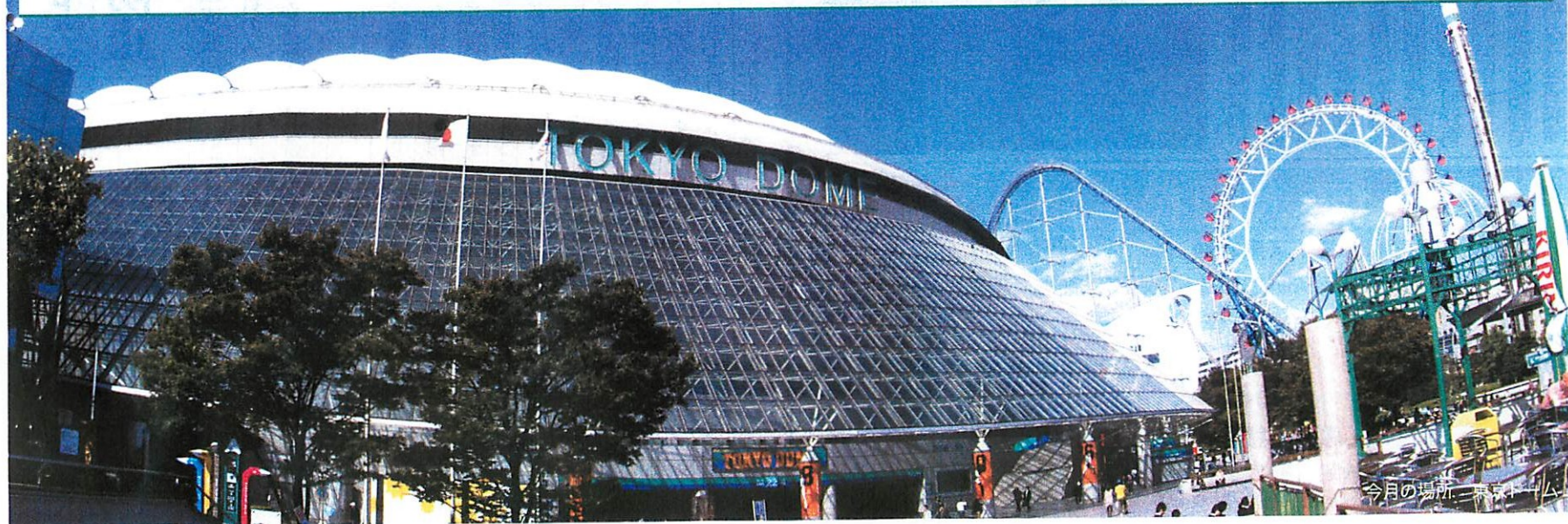
〈薬価基準収載〉
 処方せん医薬品*
 プロトンポン阻害剤
パリエット®
 〈ラベプラゾールナトリウム製剤〉
 *注意—医師等の処方せんにより使用すること

錠 10mg/錠 20mg

製造販売元
Eisai エーザイ株式会社
 〒112-8088 東京都文京区小石川4-6-10
 商品情報お問い合わせ先:
 エーザイ株式会社 お客様ホットライン
 ☎0120-419-497
 9~18時(土、日、祝日 9~17時)

●効能・効果、用法・用量及び使用上の注意等については添付文書をご参照ください。

PRT0903-64 2009年3月作成



今月の場所 東京都



都心の空中庭園風景

緑あふれる都心の空中庭園

日本橋高島屋の屋上庭園

趣味の散歩

子供の頃、日本橋高島屋は天国だった(まだ行ったことはないけれど)。きれいなお洋服にオモチャ、そして定番のお子様ランチ。

段が品格ある内装となり、ファッションだけでなく食品にいたるまで厳選された品揃えが魅力で、ウインドーディスプレイも素晴らしい。何か文化さを感じ、すべてが他店を圧倒していたように思う。

午前の診療を終え、わずかに一時間の間に昼食と気分転換するのは、やはり昔馴染みの日本橋高島屋。もう何十年通っているのだから、時代を映すその変遷をつぶさ

に観察できる原寸大カタログでもあった。最新の新しい価値観から百貨店も大変厳しい状況であり、屋上もいくつかの変遷の後、環境がテーマなのか現在の緑あふれる庭園になった。デパート名物の伝統の名店や名産展でのお弁当を都心のど真ん中の空中庭園で、季節の移ろいと共に楽しむもの天国かもしれない。近隣のビジネスマン、ウーマンにも大人気で、席取り合戦もたまに勃発する。私の散歩はデパートの進化と共にある、それも毎日。(日本橋医師会・余 敏子)

先端医療分野を担当し、今年三月に日医を辞した。医療安全の分野で、任期中に法制化までやり遂げたかった「医療安全に資する新たな死因究明制度」の原案である大綱案は、平成二十一年九月に民主党政権になったために顧みられなくなり、いまだに宙ぶらりんの状態に置かれている。

反と、業務上過失致死罪の容疑で逮捕拘留されたという報道に対して、医療界は「医療事故死を警察へ届ける医師法第二十一条を改正しろ」「犯罪ではない医療事故死に対して警察から検察への刑事司法への誤った流れを改める」と猛反発したことを誰も忘れてはいないと思う。

この医療界の声を具体化するために、平成十八年六月から平成二十二年三月まで医療界、遺族、マスメディアの代表、医事法学者、刑法学者、

日本医師会の「医療事故による死亡に対する責任のあり方について」制裁型の刑事責任を改め再教育を中心とした行政処分へ(日本医師会医療事故における責任問題検討委員会報告、平成二十二年三月)であり、厚労省でまとめたものが、法務省、警察庁も加わった「医療安全調査委員会設置法案(仮称)大綱案」(厚労省、平成二十年六月)であった。

本来、医療安全の分野は医療界にとって政治とは無関係が大綱案より優れているのかについて、医療界や遺族の代表は無論のこと、法務省、警察庁など関係省庁の代表を交えて十分議論すべきであり、長妻大臣は医療界の懸案事項であったこの問題をうやむやにして、問題解決を引き延ばすことは許されない。医療界は、「咽もと過ぎれば熱さを忘れる」の例え通り、福島県立大野病院事件が無罪になって以降、警察、検察の謙抑的傾向に慣れてこの問題解決への熱意が薄らいで

知ってま

消費税損

健康保険診療では患者さんから徴収し、診療に使用するの仕入れには消費税機関は支払っている。費税分は、本来税務るべきだが実際はそな診療報酬でも考慮消費税が増税になれの負担は大きくなって

掲示板

禁煙で人生を変えよう 騙されている日本の喫煙者 長尾和宏



著者は開業医であり、在宅医療の場で死を目前にしたがん患者と接して、多くのがんがタバコが強く関係していることを実感したことが本書を書く動機となったという。

内容としては、タバコと疾患の関係、子供とタバコ、タバコと税金、さらに最新の禁煙治療などについて述べられている。

最終章では、河本知秀氏の寄稿による「タバコ産業研究」と題したタバコ産業の実態報告がなされている。豊富な図、写真と共に著者の強調したい箇所は赤字、青字を使って目立つようにしている。さらに各章末には「禁煙川柳」があり、本書をよみやすくする工夫がなされている。

愛煙家 癮になったら 哀煙家 嗜好品 それって本当は 死向品 捨てタバコ 捨てていいのは 依存症

発行▼(株)エピック 電話▼〇七八・二四一・七五六一 価格▼一、五〇〇円